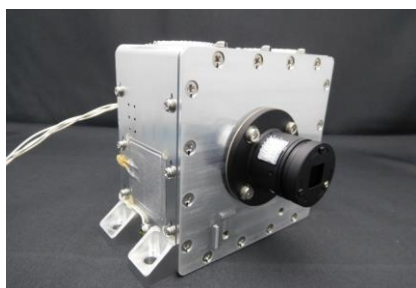


小型月着陸実証機(SLIM) 月面着陸成功



航法カメラ



マルチバンド分光カメラ(MBC)

1月20日、小型月着陸実証機(SLIM)が世界で5か国目となる月面着陸に成功しました。SLIMは、将来の月惑星探査に必要な高精度着陸技術を小型探査機で実証するものであり、「降りたいところに降りる」技術の獲得を主な目的としています。

当社は、航法カメラ、マルチバンド分光カメラ(MBC)、レーザーレンジファインダー(LRF)の3つの搭載機器を担当し、特に画像照合航法で「目」の役割を果たす航法カメラは、「ピンポイント着陸」に大きく貢献しました。MBCは、月表面に露出していると考えられる「カンラン石」を分光観測して組成を決定するためのカメラであり、今後の観測により月の形成と進化の謎の解明に寄与することが期待されます。LRFはレーザー光を使って、月面からの高度を計測する測距計です。

明星電気は、太陽系科学探査における観測装置の高度化に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



レーザーレンジファインダー(LRF)

機動型津波観測装置を輪島港に設置



観測装置架台の設置



太陽電池パネルの取り付け

「令和6年能登半島地震」の影響により、石川県の気象庁等の津波観測地点における観測データに欠測が生じていました。このため、1月14日、気象庁および港湾局の職員立会いのもと、石川県輪島港内において「機動型津波観測装置」の設置作業を行いました。設置した「機動型津波観測装置」にて16日15時より、気象庁は津波の観測に加えて潮位の観測・監視を再開しています。

被災地域の皆さまの安全と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

(担当:気象防災事業部)



設置作業完了後の装置

出典:気象庁ホームページ(https://www.jma.go.jp/jma/press/2401/16a/ното_chouikanshi.pdf)
「能登半島北部における潮位の観測・監視の再開について」より転載

【文中:敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。